

## 第 41 年度（2025 年度）ソフトウェア品質管理研究会 分科会紹介

### 「社会課題と UX」

日常生活の中で「イラッ」とすることはありますか？ 自分一人が感じることであれば我慢すれば済むかもしれませんが、多くの人がそう感じることであれば、社会課題として捉え、色々な立場の目線から問題を把握して、誰か一人のためだけの解決策にならないように注意しながら実現していく必要があります。

演習コース III（UX）では、UX を『製品やサービスを利用した際の「体験」を重視する設計思想で、利用者の目的や意向に沿って心地よく効率よく使えるように調査・設計・評価・開発を行うベースとなるもの』と定義し、企画品質や利用時品質を作り込むことで「誰かにとっての価値」を高めるべく、考え方やノウハウを演習形式で身につけます。

毎年、研究員の興味・関心に合わせてテーマや進め方を変えています。40SQiP の合宿では、「電動キックボードのシェアリングサービス」を題材にして、現状を把握するために試乗したり体験動画を視聴したりしました。サービス利用者の視点のみならず、サービス利用者に対する一般市民の視点や社会的な視点からも検討・考察を行う、幅広い取り組みになりました。電動キックボードとソフトウェア、サービスの範囲を越え、法律や倫理感にまで議論が及び、新しいサービスを価値あるものとして提供するための複雑さや大変さを感じるようになりました。

後半は、他のコースの研究員との合同開催でリモートユーザビリティテストの実施動画を分析しました。前年度から引き続き「地方自治体の観光サイト」を題材にして、観光地の魅力が伝わっているか、行ってみたいと思える情報が提供出来ているかなど、動画を観て分析する演習を行いました。昨今では、AI を使って分析作業を補助してくれるサービスや機能も開発・提供されるようになってきており、事業や製品の担当者が専門知識を持たなくても調査や評価が行えるようになる時代が近づいていると感じられます。最終的に人の本能に訴えかけるものやことを感じられる力で人間が想起・判断することだけが残っていくのかもしれない。

41SQiP では新たな取り組みとして、以下の演習を盛り込んで行く予定です。

- 製品/サービスのビジネスモデルと KPI 設定
- 利用者視点欠乏症の自己診断 （29SQiP）
- UX5 階層分析 （31SQiP）
- ぼやき分析 （32SQiP）

1 年間、UX を共に学び・実践したい人集まれ！ UX 初学者でも大丈夫です！

本コースは企業内 UX 実践者を育成すべく UX 専門家の私金山が主査を務め、副主査に先端技術を武器に企業内業務システムなどの UX 向上を指導している村上氏、アドバイザーとして Web サイトを中心に顧客の問題解決に UX 手法を有効に駆使している三井氏を迎え、ビジネスや開発現場を知る陣営で指導に臨んでいます。

-----  
演習コース III 主査 金山 豊浩  
-----

■演習コース III 「UX (User Experience)」

主 査：金山 豊浩 氏 (メンバーズ)

副主査：村上 和治 氏 (SHIFT)

アドバイザー：三井 英樹 氏 (Weblysts.com)

▼演習コース III 活動内容・詳細はこちら

<http://www.juse.or.jp/sqip/workshop/outline/#enshu3>